



京都は「はたらく」から見つめなおす冒険をはじめよう

将来
シニセ(名) 老舗と呼ばれるような
社会的価値を継承している店。
創造
ヤ企業

しにせ【老舗】(名) 「為似せ、つまり父祖の
方針を守って踏み外さぬようにする意」
先祖代々の事業を守って(繁盛して)いる店。

「1000とKYOと」ってなに？

「1000とKYOと」は、
1000年先に続く持続可能な社会を
つくろうとする企業と若者たちが新たに
出会い、対話・交流し、協働しながら、これ
からの働きかた・生きかたをともに探索するプロ
ジェクトです。2023年にスタートしてから、「これ
からの1000年を紡ぐ企業認定」の認定企業等
をはじめとし、京都にかかわる多様なアクター・
プレイヤーが参画。京都で暮らし働くU30の若
手社会人のオフ会も定期的にひらかれるな
ど、新たなコミュニティ・コラボレーショ
ンが生まれはじめています。



Webサイト

京都市では、1000
年先に続く持続可能な社会
をつくろうと、マルチステーク
ホルダーに配慮し、ソーシャルイ
ノベーションに取り組む企業を後
押しすることを目的に、2015
年から計 85 社を認定して
きています。

これからの1000年を紡ぐ企業認定

お問い合わせはこちらから！

1000kyoto@bokumin.jp
一般社団法人ぼくみん 担当：瀬川



Instagram

最新情報は各種SNSをチェック！



X (旧 Twitter)

- DIALOGUE (研究編)
- VOL.1 12月23日(月)「偏愛と教養～京都と編集のしあわせな関係」
 - VOL.2 1月14日(火)「新星と文化～シニセ妄想談義」
 - VOL.3 2月12日(水)「創造と継承～あたりまえの風景の黒子」
 - VOL.4 3月14日(金)「千年と千年～未来のシニセの扉をたたけ」

WORKSHOP (実践編)
3DAYS 2月26日(水)～28日(金)

京都は「誰も学生時代に過ごしたい街」と言われます。鴨川沿いの風景や、学割のあるラーメン屋さん、落ち着く本屋、くつろげるカフェや居酒屋……。ところが、京都の大学を卒業した学生の地元への定着率は20%以下。卒業後、多くは東京や大阪の会社に就職します。一方、京都には、10年後、100年後も残る「未来のシニセ」企業があるはず。それは、過去100年1000年のモノづくりの遺伝子を受け継いで。あるいは、まったく新しいイノベーションを携えて。もしかすると京都の企業は、その爪を隠しているのかもしれない。そこで、1000とKYOとでは、「未来のシニセ」を発掘し、「編集」する、全4回のダイアログと3日間のワークショップを開催します。京都が好きで、できることなら京都で暮らし続けたい、働きたい。本当は、そんな若者も少なくないのではないでしょうか。あなたと京都の働くをつなぐかもしれない、「編集」の試みをご一緒しましょう。



1回のみ参加OK!

DIALOGUE 研究編

概要

会場 TRAFFIC
京都市下京区塩竈町363 ウェダ本社北ビル2F(京都市営地下鉄烏丸線 五条駅1番出口 徒歩5分)
参加費 無料 **定員** 25名 ※本企画は29歳以下の学生・社会人が対象です。

VOL.1 12月23日(月) 19:00-21:00

偏愛と教養 ~京都と編集のしあわせな関係

編集はまちをたがやす。バス停からハンケイ500m、地元メディアによるガイド。独特な着眼点からの「編集」に携わるふたりの肩越しに京都を眺め、編集の役目をかんがえます。



ゲスト
関根 理沙
まいまい京都 事務局
文化コーディネーター

埼玉県出身。大河ドラマ「新選組!」をきっかけに京都の虜に。早稲田大学卒業後、JTBパブリッシングで『るるぶ』編集やご当地グルメ開発を担当し、全国を駆け回る。2021年から週末は同志社の大学院に通い、23年、念願の京都移住。まいまい京都で働きながら、古都の文化と観光をテーマに起業も準備中。和歌とお坊さんに目がない。



ゲスト
円城 新子
ハンケイ 500m 編集長
株式会社 union.a 代表取締役

京都市左京区生まれ。立命館大産業社会学部卒。企画制作会社、出版社などを経て2011年に独立、フリーマガジン『ハンケイ500m』を創刊。隔月発行の3万部はすべて道行く人の手に渡る。15年に若者向け就職情報誌『おっちゃんとおばちゃん』を創刊し関西の大学に設置。京都から多様な価値を情報発信する編集者。現在KBSラジオパーソナリティも務める。

VOL.2 1月14日(火) 19:00-21:00

新星と文化 ~シニセ妄想談義

古の都は、日々変化し、新たなモノ・コトが生まれ続けています。京都のカルチャーの生成の傍らに立つ若手デザイナーたちと、気ままに「未来のシニセ」を語り合ってみましょう。



ゲスト
岸 えりな
株式会社水星
HOTEL SHE, KYOTO 統括マネージャー

1994年兵庫県生まれ。同志社大学文学部美学芸術学科卒。大手住宅設備メーカーで営業職をしながら、フリーランスでデザイナーを経験。2022年、水星に転職。「ライフスタイルの試着」をコンセプトにするHOTEL SHE, KYOTOで、ホテルスタッフとブランディング・デザインを担当。23年にマネージャーに就任。全社的なグラフィックデザインも手掛ける。



ゲスト
堤 大樹
Eat, Play, Sleep inc.
クリエイティブ・ディレクター

広島県出身。立命館大学法学部卒。京都の呉服問屋に勤めながら、2013年、インディペンデント・カルチャーマガジンANTENNAを創設。16年、ロフトワークに転職。個人の仕事も増え、20年に文化をテーマに制作・編集を行うEat, Play, Sleep inc.を立ち上げる。一度台湾に浮気したものの、大学以降は京都に居着いている。



◀◀ 研究編のお申し込みはこちらから!
詳しい情報はQRコードからチェック!

シニセシニセトオツシャイムスガ

VOL.3 2月12日(水) 19:00-21:00

創造と継承 ~あたりまえの風景の黒子

あたりまえの風景はあたりまえにあるわけではない。京都で、自然や伝統を創造的に継承する企業からゲストを招き、大きな時の流れのなかでの、会社や個人のあり方を見つめ直します。



ゲスト
増永 滋生
株式会社アドブランツコーポレーション
代表取締役

京都市生まれ。出版社で環境分野を担当、自然環境保全会社で調査計画に従事後、2011年、アドブランツコーポレーションを創業。15年には、里地では人が育たなければ森が育たないという考えから、地域づくりに伴走するNPO法人ひとりデザイン研究所を設立。株式・NPOの両車輪で、環境を守るための調査研究や地域づくり活動を行っている。



ゲスト
富沢 真由
有限会社巨弘堂
ブランド・マネージャー

兵庫県出身。神戸大学経済学部卒。消費財メーカーで大阪・福岡・東京を転動し営業・マーケティングを経験後、京都移住。株式会社和えるで、伝統産業の次世代への継承に従事。24年、宮大工集団・匠弘堂に転職し、宮大工の価値向上、働く環境整備を、広報PR、経理、人事労務など多方面から支える。二児の母で、京都の古民家暮らしも満喫中。

VOL.4 3月14日(金) 19:00-21:00

千年と千年 ~未来のシニセの扉をたたけ

実践編では、京都に根差した企業を舞台に、未来のシニセの編集に挑戦します。その大ききな風呂敷のうえには、何が生まれ現れるのか。VOL.4では、実践編と研究編を総括。「未来のシニセ」と私を編み込み、1000年先に続く持続可能な社会を生きること、つくることの可能性を探索します。



コーディネーター
大澤 健
一般社団法人ほくみん 理事
ファシリテーター

1997年滋賀県生まれ。通称ざわけん。就活から逃避し京都大学文学部を休学して彷徨っていた頃、ほくみんの前身のプロジェクトに遭遇。なんとなく関わりはじめ、気づけば社会人4年目。現在は、ふくしデザインゼミという学びの場の企画運営、TAKASHIMA BASEなど滋賀県高島市での地域コーディネート、福祉法人の組織と人の変化の伴走支援など、多世代・多分野協働の未来づくりに挑戦している。息抜きにラッコとカワウソの動画をよく見ているらしい。



WORKSHOP 実践編



◀◀ 実践編のお申し込みはこちらから!
申し込み締め切りは、2025年2月16日(日)23:59です。
定員に達し次第、受付を終了します。

シニセの魅力を「ツアー体験」に編集する3日間集中ワークショップ

京都には、「未来のシニセ」があるはず。そっと佇むその前を何気なく通り過ぎているかもしれないし、あるいは、あなたの関わりが100年1000年先につながる変化を生むかもしれない。実践編では、地域企業を訪問し、その魅力に磨きをかけるツアープログラムの企画提案にチームで挑戦します。プロの編集者・デザイナーが伴走して、手を動かし、目を凝らし、耳を澄まし、語り合いながら、広義の編集を実践を通して学びます。経験や技術は不問です。みなさんのご参加をお待ちしています。

日程 2025年2月26日(水)-28日(金) **応募対象** 3日程に参加可能な29歳以下の学生・社会人
場所 京都市内 ※企業訪問等移動を伴います。 **参加費** 学生 7,500円 / 社会人 15,000円 ※プログラム中の食費等は含まれません。
定員 16名

DAY.1 2月26日(水) 14:00-21:00

入口 編集・シニセと出会う

- ・レクチャー「広義の編集」(講師:影山裕樹)
- ・企画会議①「未来のシニセとは?」
- ・夕食交流会



講師
影山 裕樹
編集者
千十一編集室 代表 | 大正大学表現学部専任講師

1982年東京生まれ。早稲田大学卒。まちを編集する出版社の代表として、出版プロデュース、ウェブ制作、著述活動の他、CIRCULATION KYOTOなど各地プロジェクトのディレクションにも携わる。ウェブマガジンEDIT LOCALも企画運営。著書に『ローカルメディアのつくりかた』、共編著に『新世代エディターズファイル』など。

DAY.2 2月27日(木) 9:00-18:00

トンネル あたりまえを通り抜ける

- ・企業訪問、取材
- ・レクチャー「デザインと編集」(講師:坂田佐武郎)
- ・企画会議②「価値を発掘し、体験を編集する」



講師
坂田 佐武郎
デザイナー
Neki inc. 代表 | 京都芸術大学非常勤講師

1985年京都府生まれ。京都造形芸術大学を卒業後、3年間、大阪のクリエイティブユニットgrafでデザイナーとして勤務。2010年に独立し、京都を拠点に主にグラフィックデザインの分野で活動し、18年に写真家の妻とNeki inc.を設立。企業等のロゴ・ブランディング、本やマガジン、フライヤー等の幅広いデザインを手掛ける。

DAY.3 2月28日(金) 9:00-16:00

出口 意味・価値を表現する

- ・企画会議③「変化につながる表現を描く」
- ・プレゼンテーション「4通りの“未来のシニセ”」
- ・ふりかえり